

愛知県医療療育総合センター中央病院で行われている臨床研究について

当施設では下記の臨床研究を行っております。全ての研究は、愛知県医療療育総合センター倫理審査委員会の審査を経て、センター総長（石黒直樹）の承認を得て行っています。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に診療情報等を利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご照会ください。

[研究課題名] 当院における腹腔鏡下噴門形成術の成績と予後に関する因子の検討

[研究責任者] 中央病院・小児外科・大島一夫

[研究の目的・試料および情報の利用目的]

重症心身障害児（者）の 16%には、食道裂孔ヘルニアもしくは逆流性食道炎に対する腹腔鏡下噴門形成術が必要となると言われている。腹腔鏡下噴門形成術後の症状再発率は、5-30%と報告されてるが文献により差は大きい。栄養障害、慢性的な呼吸障害、側弯、術式などが再発に関連すると言われているが、統一された見解はまだない。本研究では、当院で腹腔鏡下噴門形成術を施行された重症心身障害児（者）の診療情報を後方視的に解析し、当院における成績、再発などの予後に関する因子を同定する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院で胃食道逆流症もしくは食道裂孔ヘルニアと診断され、2008 年 10 月から 2026 年 8 月の間に腹腔鏡下 Nissen 噴門形成術を受けられた方。

●研究期間

2025 年 2 月 14 日から 2030 年 3 月 31 日

●利用する情報・検体、取得方法

カルテに記載されている以下の情報：生年月日、性別、手術日、手術時年齢、手術内容、手術時間、手術時 BMI、背景疾患、食道裂孔の有無、上気道閉塞呼吸の有無、胃瘻の有無、側弯の有無と向き角度、術前術後食道 pH 検査結果、術後経過、転帰、最終受診、採血データ

●試料・情報の外部提供、利用する者の範囲

この研究の情報は、当院のみで使用します。

[個人情報の取扱い・管理責任者]

個人を直接特定できる個人情報（氏名、住所、ID など）は削除した上で研究に用います。

[研究組織]

研究責任者：大島一夫・中央病院・小児外科・医長

共同研究者：横田一樹・中央病院・小児外科

共同研究者：新美教弘・中央病院・院長

共同研究者：田中修一・中央病院・小児外科

共同研究者：柴田淳平・中央病院・小児外科
この研究は当院のみで行います。

[問い合わせ先]

愛知県医療療育総合センター 中央病院 小児外科

担当者名：大島 一夫

〒480-0392 愛知県春日井市神屋町 713-8

電話 0568-88-0811（代表） FAX 0568-88-0828